

## 三重交通に小型 EV バス「J6」2 台を納入 伊勢市コミュニティバス「おかげバス」として運行開始

ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉 学亮、以下 BYD ジャパン）は、この度、三重交通株式会社（本社：三重県津市、代表取締役社長：竹谷 賢一、以下 三重交通）に小型 EV バス「J6」2 台を納入いたしました。これらの小型 EV バスは、三重交通が伊勢市から受託しているコミュニティバス「おかげバス」として、2023年4月24日（月）より、辻久留・藤里線、鹿海・朝熊線、二見線、東大淀・明野・小俣線、環状線において運行を開始いたしました。

この度三重交通が運行を開始する EV バスは、国、三重県、伊勢市が推進する「低炭素なまちづくり」の実現に向けた取組みを幅広い年代層に知っていただくため、三重県と包括連携協定を締結している株式会社ポケモンより、取り組みへの賛同とデザイン協力を受け、みえ応援ポケモンとして任命されている「ミジュマル」をはじめ、でんきタイプのポケモンたちがデザインされたラッピングが施されました。また、EV バス運行には、中部電力ミライズが提供する再生可能エネルギー「三重美し国（うましくに）Green でんき<sup>(※1)</sup>」が使用されます。当該電気は通常の電気と比較し、年間約 29t の CO<sub>2</sub> 削減効果が期待できます<sup>(※2)</sup>。

今後も BYD ジャパンは、環境にやさしく、安全性の高い EV バスを提供することで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

(※1)「三重美し国 Green でんき」は、三重県内に立地する榎田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気に、同発電所に由来する環境価値を活用することで CO<sub>2</sub> 排出量ゼロにした三重県産の電気を中部電力ミライズより同県内の事業者を中心に供給するものです。

(※2) 三重交通調べ。



「おかげバス」として導入された J6

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

BYD は、グローバルで累計約 9 万台の EV バスを納入しており、世界中の公共交通の電動化を後押ししてまいりました。BYD の日本法人である BYD ジャパンは、2015 年に中国自動車メーカーとして初めて国内で EV バスを納入して以降、日本市場向けの小型 EV バス「J6」や、路線バスとして最適な 10.5m の大型 EV バス「K8」などを展開し、日本各地で交通インフラの要としての役割を果たしています。「e モビリティを、みんなのものに。」をブランドパーパスに掲げ、日本のお客様のニーズに応える製品・サービスを展開してきた結果、140 台の EV バスを納入しています。(2023 年 4 月 21 日時点)

## ■小型 EV バス「J6」について

車両名称	J6 (読み：ジェイシックス)
車長×車幅×車高	6,990mm×2,080mm×3,060mm
一充電走行可能距離 (カタログ値) (※3)	200km
バッテリー容量	105.6kWh
乗車定員	都市型Ⅰ : 31 人
	都市型Ⅱ : 29 人
	郊外型 : 25 人

(※3) 乗車率 65%、エアコンなしの場合

## 【ビーワイディージャパン株式会社について】

2005 年に BYD の日本法人として設立した BYD ジャパンは、EV バスをはじめとする電気自動車事業のほか、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業を国内で展開しています。BYD ジャパンは、今後も革新的な技術によって地球環境に配慮した製品・サービスを開発し、社会と人々の生活に寄り添った事業を展開してまいります。

社名	ビーワイディージャパン株式会社 (英名：BYD JAPAN Co., Ltd.)
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町 1 番地 7 横浜ダイヤビルディング 19F
事業内容	電気自動車事業、環境エネルギー事業、IT デバイス事業
代表取締役社長	劉 学亮

## 【BYD グループとは】

BYD は、1995 年に中国・深圳で創業し、IT エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの 4 つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては、世界 70 超の国と地域、400 超の都市に電気自動車を展開し、中国国内では 9 年連続で電気自動車販売台数第 1 位 (※4) となりました。さらに、2022 年の電気自動車の販売台数は世界 No.1 (※5) となりました。

(※4) 出典「Global EV Outlook 2020」

(※5) 電気自動車=EV/PHEV/FCV の総称 台数情報出典：マークラインズ(株)

以上

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2023 年 4 月 26 日 (水) 現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

## 製品に関するお問い合わせ：

ビーワイディージャパン株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>  
Copyright (C)2023 BYD Company Ltd. All rights reserved.